

経営比較分析表（令和元年度決算）

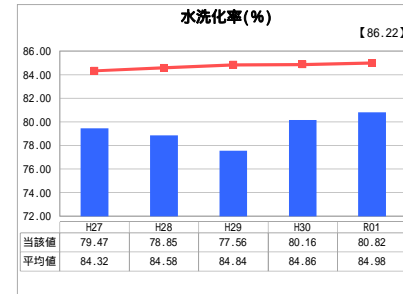
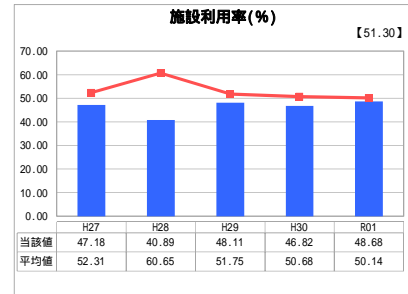
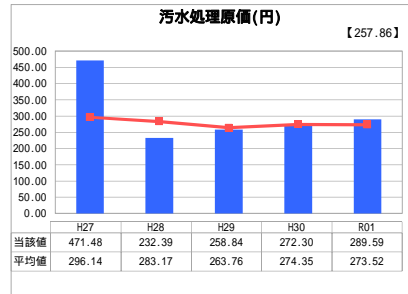
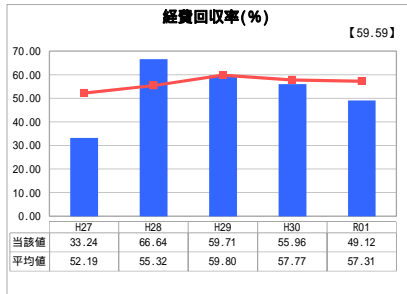
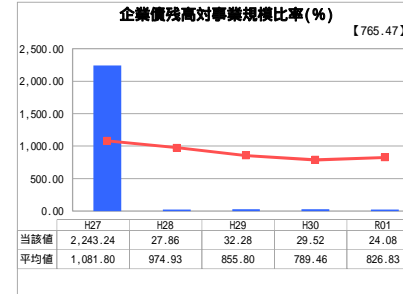
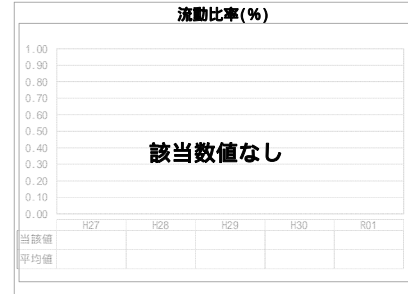
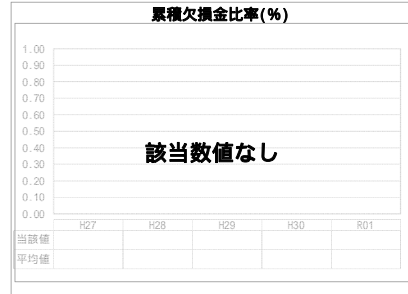
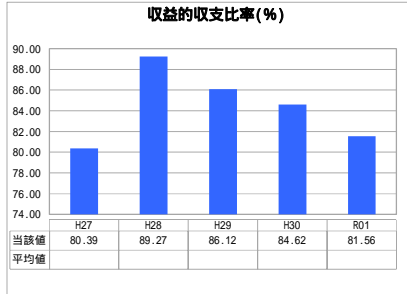
佐賀県 小城市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	5.66	77.42	2,970

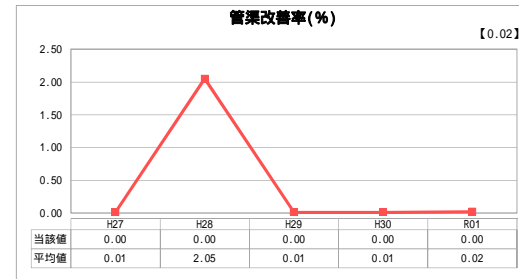
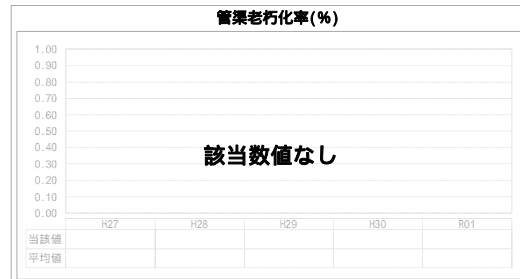
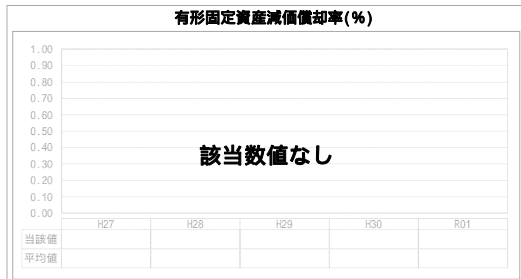
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
45,327	95.81	473.09
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,555	1.41	1,812.06

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

当市の農業集落排水事業について、収益的収支比率は下降傾向にあり、100%を下回っているため、経営改善を行う必要がある。
また、企業債残高対事業規模比率については、類似団体と比較して低い状態になっている。
経費回収率については、類似団体を下回っており、汚水処理原価は類似団体と同等程度の状況である。
経費回収率については年々減少しているが、その要因は汚水処理費の増加と企業会計移行に伴う打ち切り決算による使用料未収によるものである。
また、汚水処理原価も年々増加しているが、その要因は修繕費の増加によるものである。
施設利用率、水洗化率のいずれも類似団体より非効率な状況となっている。その要因は、農村部の高齢化により、接続率が上がらないことが原因と思われる。今後は統廃合の検討を行っていく必要がある。

2. 老朽化の状況について

当市の農業集落排水の供用開始は平成13年3月27日以降となっており、下水道管に法定耐用年数を超えたものはない状況である。
しかし、農業集落排水の3処理区の内、2処理区については整備から10年以上を経過しているため、施設の機能強化を行っている。

全体総括

分析の結果、当市の課題は水洗化率の低さにあると思われる。このため下水道に接続してもらえようように、戸別訪問や、PRを強化する必要がある。
また、収益的収支比率や経費回収率が低いこともあり、他会計繰入金に頼っている状況である。